

大阪ボランティア協会トップ : [NPO推進センタートップ](#) : [NPO入門講座トップ](#)**第1期 市民のためのNPO入門講座 第1講講義録**

01/05/18 19:00~21:00 @社会福祉研修センター4F

講師：早瀬昇（大阪ボランティア協会事務局長） 司会：川畑恵子（大阪ボランティア協会・NPO推進センター運営委員）

講演：「NPOとは？ボランティアとNPOは違うのか？」

講師：早瀬昇（大阪ボランティア協会事務局長）

NPOとは、Non Profit Organizationの頭文字を取ったものです。本当はアメリカにはこの「NPO」という言葉はなく、Nonprofitで一つの単語になります。

この言葉は最初はアメリカで使われ出しました。

同じことをイギリスでは「チャリティ」といいます。

Non=非 Profit=利益 Org=組織

直訳すると非利益組織となります。赤字会社と勘違いされそうですが、NPOの反意語はなにかと考えると、「For Profit Organization」。利益のための組織という意味です。

すなわち、NPOは「Not For Profit Organization」。

「お金のためではないが、お金をもらっても良い組織」となります。

ここがボランティアとは違うんです。

中学の英語の時間に、Not-butという構文があったでしょう。

それに当てはめてみると「NOT For Profit BUT For Mission」。

利益のためではなく、ミッションのための組織で

「何のための活動なのか」というミッションが大事なんです。

例えばTBSが地雷に関するキャンペーンをしている。2000年に1回の大隕石を毎晩見ている人がいる。

これらはお金のためではない、ミッションのためなんです。

ボランティアと有償ボランティア ～タラバガニはカニか？～

今日のキーワードでもある「有償ボランティア」という概念があります。これがNPOの理解に役立ちます。

「有償ボランティア」と「ボランティア」という言葉は仲が悪かった。

普通、ボランティアという英語は、イギリスやアメリカの人に聞くと、タダのものです。有償ボランティアは受け入れられません。

それに対して、「ボランティア精神でやっているのだ。1500円のを500円でしている！」というのが有償ボランティアの概念です。

活動をしている人の志が「ボランティア」という言葉にこだわらせるのかもしれませんが。

実は言葉の問題で、「有償活動」なら問題はなかったのかもしれませんが。

「タラバガニはカニか。」という話があります。

実はタラバガニは足が8本あり、カニではなくてやどかりなんです。

でも、どうでもよしい。うまかったらええんです。

それと同じで、有償でも無償でも、ボランティアであればどっちでもいい。

右のリストを見てください。

どこまでが無償だと思いますか？

結局有償と無償はつながっています。すごく微妙なものなんです。

また、ボランティアが無償である以上、余暇の活動になります。

一定の余裕のある時間を使わないと、食べていけなくなります。

福祉の世界で言えば、家事援助は余暇でできます。家事はためられます。



- A 手弁当
- B 活動に必要な実費をもらう
- C 弁当費をもらう
- D お中元とかお歳暮を受けとる
- E 記念品としてユニフォームを受けとる
- F 最低賃金を割っている謝礼を受けとる
- G 専門能力を格安で提供する
- H 相場どおりの報酬を受けとる

「有償と無償はつながっている。すごく微妙なもの。」

掃除なんか1年ぶりにした、という人もいんでしょう？（笑）

「作り置き」ができるので、自分の暇な時間でできます。

ただ、介護は溜められません。ということは、交替であれ、専従でないといけなくなります。

専従であるということは余暇活動ではない。となると、有給でないといけなくなります。

福祉の世界で有償ボランティアが発展した理由はここなんです。

また、専従になるということが、従来の余暇だけにとられる活動よりも、専門化しやすくなります。

ニーズの深まりがあったんです。

ボランティアという英語は、普通有償の活動を含まない。

しかし、両方お金もうけのためではない。

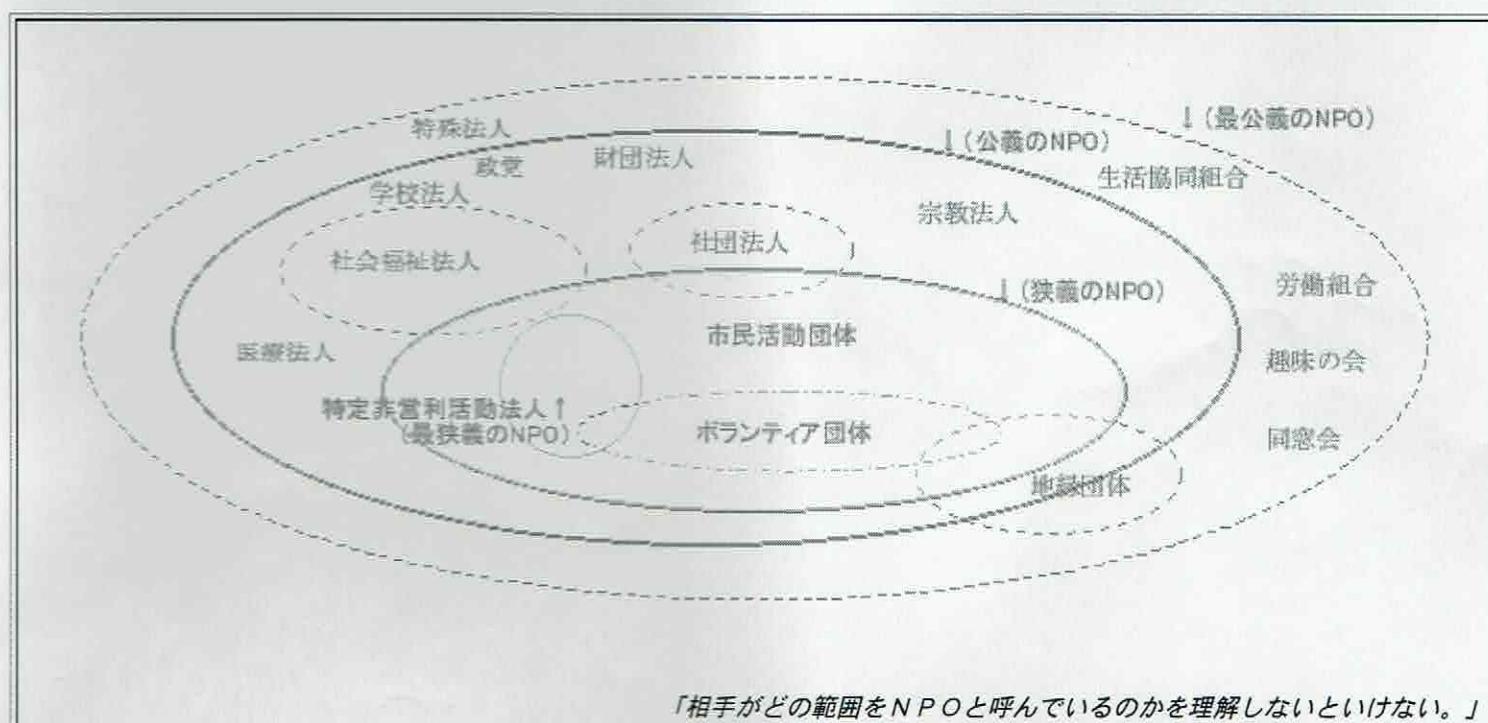
高齢者の介護のため、という社会的使命のためにやっている。だから、NPO。スタイルの違いです。

4つのNPO

逆にボランティアもNPOになりえます。

日本では大きく2つのNPOの概念があるといえます。

NPOについて語る時、相手がどの範囲をNPOと呼んでいるのかを理解しないとイケません。



・最公義のNPO。

アメリカベテランズや退職軍人会が含まれます。共益団体と言われるものが入ります。

・広義のNPO

非営利公益団体と言えます。セルフヘルプグループは一般的にはここに入ります。

英語でPublicとは「開かれている」という意味です。

日本語では「おおやけ」の語源は大きな館。お上のことです。

例えば、飲み屋のPUBはこのPublicの略です。ゴルフでもPublic Courseがあります。

いずれも「会員制ではない」という意味です。

英米でNPOというと、この2つのどちらかを指しますが、日本ではさらに2つあります。

「市民活動団体」というイメージです。

市民が主体となって、創意工夫で自由に活動しています。

社団、財団などは大きな法律の縛りがあり、市民の自由がききにくくなります。

そのなかにさらに、特定非営利活動法人があります。

これだけをNPOと思っている人もいます。これが非常にややこしい。

「特定非営利活動法人」は名前が長いので、略してNPO法人といいます。
元々は「市民活動法人」だったんですが、97年12月、法律を作るときに

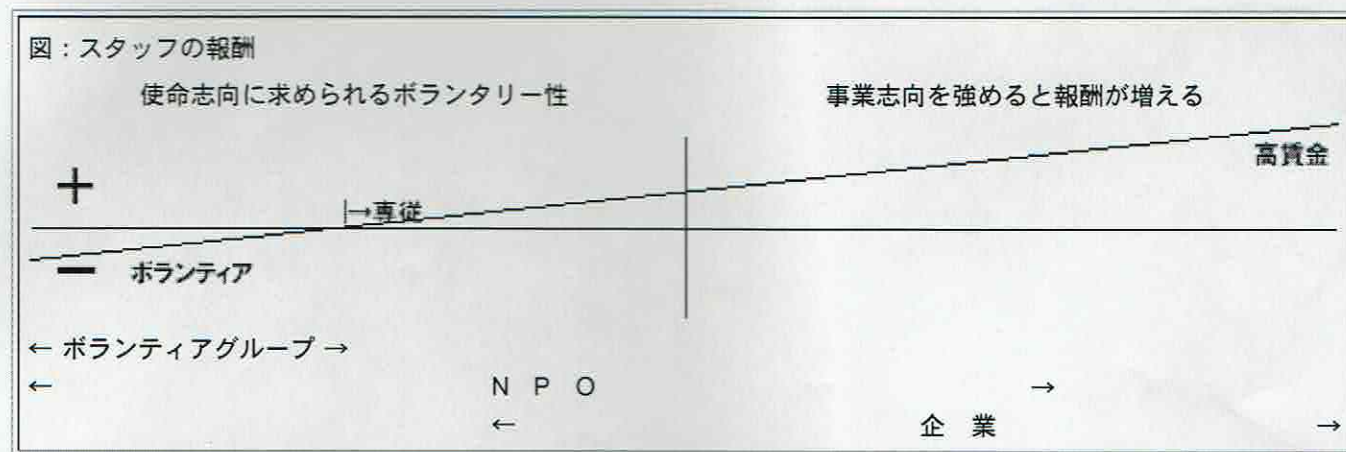
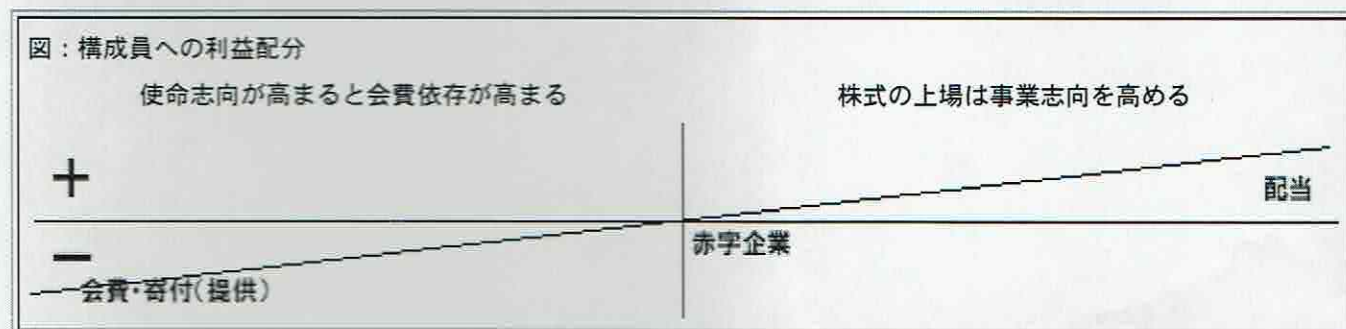
参議院である自民党議員の反対があり、結果、法律内で「市民」という言葉は1ヶ所だけ残ったという経緯があります。
これだけがNPOではありません。

NPOはお金儲けのためではない団体。
とはいえホンマはわからないので、それを形で示すことになっている。

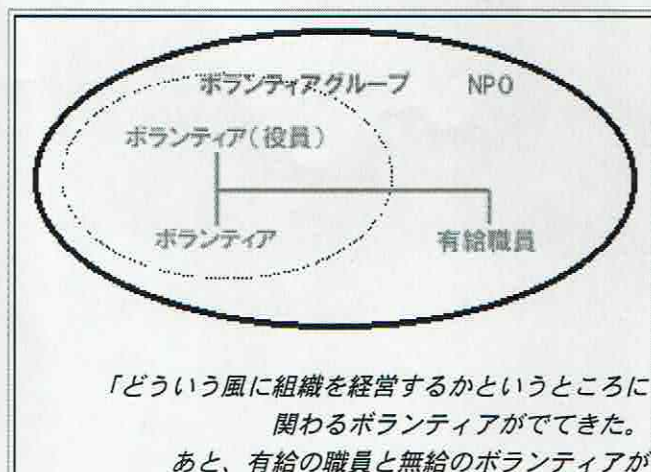
NPOはお金の使い方、経理で判断することができます。
例えばパンフレットを非営利で作っていた団体があるとします。
パンフレットは作れば作るほどコストが下がりますが、浮いたコストを山分けしたらNPOになりません。
分配しないのがルールです。特定非営利活動法人は、その団体が解散するとき、他のNPOに寄付するか、国庫に没収になります。

ところが、給料をたくさんはらったら実質分配ができます。そこで2つめの判断基準があります。
それが組織形態です。

- 「図：構成員への利益配分」利益があるかないか。赤字企業もある。
- 「図：スタッフの報酬」報酬。企業には無給はありません。サービス残業はあるかもしれませんが。



ボランティアグループと企業だけなら、この分け方で問題ありませんでした。
去年の元旦の「私の履歴書」にダイエーの中内さんの話が掲載されていました。
戦争中伍長だった彼が言ったのが「勇敢な人から死んでいった」という言葉でした。
中内さんならでは言葉だと思います。敗走、敗走の後、やっと帰ってきたとき、日本は焼け野原でした。
「まじめに働きさえすれば衣類が着れて、食事ができる世界が作りたい」、という思いからダイエーを始めたと言います。
ここには使命があります。
企業だから使命がないかという、そうは言えません。
松下幸之助さんの「電化製品を水のように提供したい」という話しも



「どういう風に組織を運営するかというところに
関わるボランティアがでてきた。
あと、有給の職員と無給のボランティアが

いっしょに働くということができた。」

使命があります。

NPOと企業の差はすごくややかしいです。

そこで、役員はボランティアにして、専従の有給スタッフを雇おう、という団体が出てきます。

ボランティアグループも含んだ、NPOという概念が出てきました。(右図)

役員という形で、どういう風に組織を運営するかというところに関わるボランティアがでてきました。

社会福祉法人も学校法人も役員はボランティアです。

そして、こういった組織の特徴として、有給の職員と無給のボランティアがいっしょに働くということができました。

市民活動とは選ぶこと。

普段の暮らしの延長なんです。

有給スタッフを抱えられるようになると、専門性をもつようになります。これは行政に対して強いと言えます。

行政は「みんなのため」の組織です。定期的にやってくる配置換えは、一見非効率にも見えますが、

「公平」という原理からいうと正しいとも言えます。癒着が防げます。

対して市民活動はこだわりの世界です。ある意味で、公平なことではできません。

市民活動のコツはあきらめることです。

私が仮に手話をしているとします。何を隠そう、実は、私、阪神タイガースのファンなんです。

でも、巨人ファンの饗唾者であろうと、ヤクルトファンであろうと、公平に手話しまっせ、と言いたい。

それで、実際に手話をするのですが、もし、この会場に目の不自由な人がいらっしゃったら何と云うでしょう。

「おまえ、ボランティアやろ。何で手話しかせえへんねん！」。

そう言われたら、どうします？

どんなに一生懸命手話をして、目の不自由な方のお世話はしていません。

そこで、「ああ、そうか」と点字を始める。

そこへ車椅子の人が来たら、「私ボランティアです。車椅子、押させてください」となる。

その道で今度は阪神大震災の募金をしているので、「募金せな」とお金を出したら、何と横では雲仙災害の募金活動をやってる。

そうしたらピナツポ火山はどうでもええんか…ということです。

つまり、我々の活動は、結局選ぶんです。

市民活動のコツは選ぶこと。それを極めると「専門」になります。

職員を抱えると大変です。なにもしなくても支出はありますが、何もしないと収入は増えません。

経営という問題が出てきます。

市民プロデューサー養成講座ならここから膨らませるのですが、今日は時間がないので。

実は、ボランティアというのは、ふだんの暮らしの延長だということです。

「公平にしない」と言うと犯罪的な匂いがするとか、道徳に反するように聞こえますが、皆さんはふだんそんなに公平に暮らしてますか？

だいたい、家族をつくるというのは不公平なことです。

特定な人と特定な関係を営むのが結婚で、これを不特定の人と公平にやると問題になります。(笑)

あるいは、子育てもそうです。私には3人の子どもがいます。

3人とも、自分の子なんですから、公平に育ててやりたいと思ってますが、しかし、子どもに公平にするというのは難しい。

どうしたって、最初の子は写真が多くなります。珍しいですから、ついつい、写真を撮ります。

実際NPOやボランティアというのは、好きなことを夢中になってやっているだけ(笑)。

そういう、ふだんの暮らしの延長なんです。「私がやります」と言えば、いつでも始められる。

だから多彩にできるし、機動的だし、リスクを負えるから開発的なことができます。

不公平にやるから個別に対応できて温かい。

そんな強みがあるわけです。

自発的とは、いわれなくてもすること、

いわれてもしないこと。

ボランティアグループもNPOです。まったくおなじ悩みがあります。

自分たちの活動をNPOと言おうがボランティアと言おうが、共通点があります。



市民のためのNPO推進センター 2011/05/18

自発的であるということです。

自発的とはいわれなくてもすることですが、いわれもしないことともいえます。

ガンジーの非暴力不服従は立派なボランティアです。どこまでするかは自由です。

どこまでしたらいいかという基準がないということは、「どこまでしよう」「どこまでしかできません」という基準を自分で決めないといけないということです。

これがつらいんです。

例えば企業は明確な基準があります。損をしないことです。

行政は人のせいになります。「議会が、、、」とか。「私がきめられませんねん。」といえる。

ボランティアはやる人は命をかけてでもやります。

逆に、なんにもしない人もいます。程度にすごく差ができます。

責任感の強い人ほどがんばるわけです。がんばったら無理をします。

無理をすると、人間ですから、疲れます。休まないといけません。

休むと、「そやからボランティアはあてになれへん！」と言われるわけです。

「私だって一生懸命やってるのに」と言いたいところです。

言ってもいいんですが、「そうですか、おたくもだめですか」とため息をつかれたりすると、

「ほっとかれへんなあ」とまた無理する人が出て来るんです。

そしてまた疲れる。また休みたくなる。これを、疲労と不信の悪循環と言います。

この話のある市民団体の人に話したら、「私、それ3周目です」とおっしゃられて、(笑)

どう答えていいかわかりませんでした。

解決策の1つは、支援者を集めることです。

自分だけで抱え込んでではだめで、応援してもらうことです。

会員、寄付者もいます。大阪ボランティア協会の場合45%は事業収入ですが

のこりの55%はみなさんからの支援です。

これが重要なポイントです。

給料はどうやってきめるか質問もよく受けます。とい

ってもある中からわかるしかありません。

NPOでは「雇われる」と思わない方がいいです。NPOに就職はできない。

公募はまれです。

NPOは自営の方がいい。給料を払わなくてもいいですから。(笑)

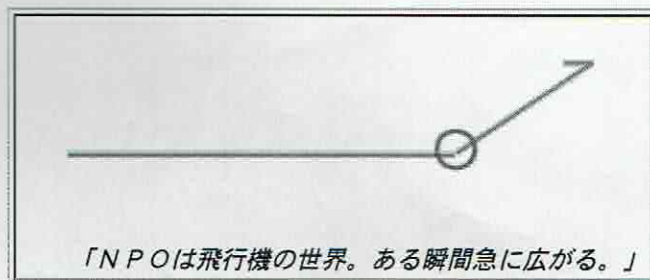
企業経営はよく「3年単黒5年累ゼロ」といわれますが、NPOは飛行機の世界です。

ある瞬間急に広がります。で、また並行になります。

団体によってはまた急上昇するところもありますし、落ちていくところもあります。

そこで、最初にもどりますが、だからMissionが大事だと言えます。

明確であればあるほど、支援者が集まると言えます。



講義録作成：吉田建治（大阪ボランティア協会・NPO推進センター）

ご感想は→mailto:bcc00041@nifty.com

Copyright(C) 2001 Osaka Voluntary Action Center

許可なく転載することを禁じます。